

講演レジュメ「核不拡散体制の新たな展開」

大阪大学 黒澤 満

核不拡散体制の現状

- (1) 2005年NPT再検討会議の失敗
- (2) 核不拡散条約(NPT)の普遍性 イスラエル、印、パ、米印原子力協力
- (3) 核不拡散条約(NPT)の実効性 北朝鮮、イラン
- (4) 非国家行為体 核テロ
- (5) 核燃料サイクルへの関心の増加

核不拡散体制を強化する諸措置

- (1) IAEA保障措置 追加議定書
- (2) 輸出管理 原子力供給国グループ(NSG)
- (3) 拡散防止構想(PSI)
- (4) 国連安保理決議1540
- (5) 濃縮・再処理活動への制限(NPT第4条)
- (6) G8グローバル・パートナーシップ
- (7) 核セキュリティ

核不拡散と核軍縮(NPT第6条)

- (1) 包括的核実験禁止条約(CTBT)
- (2) 兵器用核分裂製物質生産禁止条約(FMCT)
- (3) 核兵器の削減

今後の課題

- (1) 新たな核不拡散体制の合法性と正当性と実効性のバランス
- (2) 核不拡散体制の三本柱のバランス
- (3) 非国家行為体への対応
- (4) 米国の核・安全保障政策の変更